



新潟市立山田小学校

コミュニティ・スクール通信 Vol. 1

令和6年7月18日
山田小学校 CS 事務局発行

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」が導入され、3年目となりました。委員の交代もあり、今年度は下記12名の委員と1名の事務員でスタートしました。

5月13日(月)、山田小学校地域ボランティア室にて、第1回学校運営協議会が開催されました。

第1部として、5時間目の学習の様子を参観していただきました。真剣な表情で取り組む様子や、積極的に手を挙げる姿を見て、みなさん感心されていました。



第2部 運営協議会

(1) 開会の挨拶 [校長]

令和6年度は、70名の1年生を迎えて、現在、全校児童400名です。6年生が1年生の朝の支度を手伝ったり、縦割り班活動の顔合わせ会の自己紹介で同じ班の人の話に耳を傾けたりするなど、子どもたちのよい姿がたくさん見られています。このような姿を褒めて価値付け、子どもたちが継続したり、他のことにチャレンジしたりするエネルギーにしていきたいと思っております。一昨年度から新潟市内すべての学校でスタートしたコミュニティ・スクール。地域とともにある学校として、皆様からのご意見、ご協力を賜りながら、子どもを真ん中にした取組をしてまいりたいと思います。



(2) 学校の基本方針についての説明（概要） [校長]

今年度は、学校教育ビジョンに「思考する力」「かかわる力」「自律する力」を育てたい資質・能力として掲げ、学力向上推進委員会、心の教育推進委員会、健康・体力向上推進委員会の方策を基に教育活動を進めていきます。その土台となる学習・生活環境整備を特別支援教育部が中心となって働き掛けていきます。



(3) 学校評価について [各推進委员会主任]

- ・学力向上推進委員会…「対話」で学びを深める授業づくり
- ・心の教育推進委員会…交流活動推進と適切な言語環境づくり
- ・健康・体力向上推進委員会…目標設定と取組の過程を大切に活動の推進
- ・特別支援教育部会…どの児童も学びやすく安心して生活できる環境整備

(4) 令和6年度の学校行事について [教務主任]

(5) 地域と学校パートナーシップ事業内容について [地域教育コーディネーター]

昨年度の活動例紹介と願い（やまだっ子お助け隊の輪を広げていきたい）

委員の皆様から

- ・教育ビジョンに記されてある「ICTを有効活用した授業づくり」もう少し焦点化したらどうか。➡「思考の構築や整理等におけるICTの有効活用」
- ・「温かい言葉遣いの指導」とあるが、どのような場面で行っているのか。➡道徳の授業と日々の生活場面や授業において行っている。
- ・地域でご挨拶の日（5のつく日は、ごあいさつDAY）を設けて、挨拶を活発にしていきたいと考えている。皆さんの協力を得たい。
- ・下校時の飛び出しやオレンジロードの石けりが心配である。子どもたちへの安全指導を学校と地域で協力していきたい。

(6) 閉会の挨拶 [会長]

子どもたちのために、皆様のご協力をいただきながら、今年度会長を務めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクール（CS）とは、「学校運営協議会」が設置された学校のことをいいます。協議会は、保護者、地域の代表者、学校教職員などで構成されます。未来を担う子どもたちにどう育ってほしいかを話し合い、地域と学校が一体となって子どもたちの成長を支えていくという取組です。